

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目Ⅰ		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	社本 雅信		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shamoto@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
英文読解力向上と英文による自己表現力向上

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
「なし」

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
1. 古今英雄集（朝日出版社、1,100円）2. ユニーク英作文2(成美堂、800円)

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>上記教科書1を使って次のことを行う。(ほぼ55分から60分間) 1. 英雄は民族の危機、社会の混乱の中からそれを救うべく生まれてくる。英雄の物語を読んでいると、英雄を生んだ 国の状況や英雄に託した民族の夢が彷彿として浮かんでくる。 ドナルド・キーン of 英文は明快で読みやすい。英文の意味をとったら終わりというのではなく、気に入った箇所を ときどき頭の中で再現し、できればそれを書いたり口で唱えたりすると、自然に英語力がついてくる。 暗誦させる。毎回10人程度に訳読させる。常に前後の脈略を考えて、語句の意味、構文を捉えるように指導する。 上記教科書2を使って次のことを行う。(ほぼ25分から30分間) 2. 将来いろいろな場で英語を使うことが要求される。それに備えて、後期は前期で学んだ内容をさらに発展させ、 長めの英文を一人で作ることができるような訓練をする。</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

後期終了時の成績を100%としたとき、定期試験の占める比率は70%から75%、平常点(授業での発表の出来、小テストの成績、出席状況)は25%から30%である。なお、1) 小テストを受けなかった場合は、その分は零点とし、 2) 欠席が後期授業回数のおよそ三分の一を超える場合は定期試験の受験資格を失う。

### 【オフィスアワー：授業相談】

金曜日4時半から5時10分

### 【学生へのメッセージ】

1. 英語はピアノの練習と同様に、毎日継続的に最低30分でも学習することが大切である。いきなり力をつけようとしても、うまくいくものではない。2. 英々辞典(OALD、LDCEなど)を使おう。

### 【その他】